

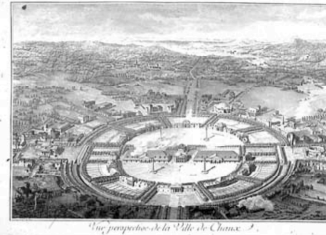
# ヨーロッパ統合とユートピア ～ フランスの社会的経済

Construction de l'Europe et utopie - Economie sociale en France

## ■ヨーロッパ統合・ユートピア・社会主義

### ・ヨーロッパ連合というユートピア

現在、ヨーロッパの 25 の国がヨーロッパ連合 (EU) に加盟しています。EU は単なる国際機関ではなく、古代以来のヨーロッパが理想としてきたユートピアを実現しようというものです。



### ・ユートピアとしての社会主義

豊かで公正な社会の実現を唱えるユートピア思想は、常にヨーロッパ思想の底流にあり、たとえば 18 世紀には、スイス国境に近いフランスのジュラ山脈の麓のアルケスナンでの製塩都市計画 (右上図・未完) などを生み出しました。そして 19 世紀にはヨーロッパ各地で様々な社会主義思想を生み、今日の社会制度と社会科学の基礎を作りました。

## ■ユートピア社会主義とジュラの農民社会

### ・フランス・ジュラの社会主義思想

社会主義は、社会的絆を強化して貧困を克服し幸福で公正な社会を築こうという思想・運動です。フランスのジュラ地方では特に、フリーエヤブルードンのような、国家に頼らず地域のアソシエーションで理想を実現しようという思想家が生まれました。彼らの思想は、当時の農民からインスピレーションを得たものでした。



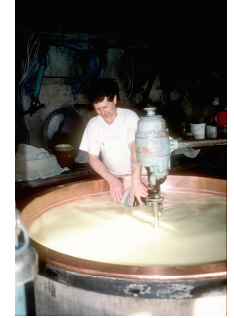
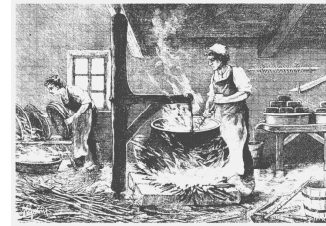
### ・ジュラの社会主義思想の起源としての農民社会

ジュラの農民たちは、中世後期から協同組合を作り協同してチーズを作ってきました。チーズ組合は 19 世紀に大きく発展し、ジュラの農民の生活を変化・発展させました。チーズ組合は今日でもジュラ農業の要です。つまりジュラはアソシエーション社会なのです。



### ・信仰深い人々による協同組合

とはいえジュラの人々は必ずしも、農村の協同性を重視する社会主義者というわけではありません。彼らの生活にはカトリックの信仰が深く根を下ろす一方、個人主義的な姿勢と協同を志向する姿勢とが混在しています。実はチーズ組合はこうした彼らの姿勢に根ざしたもののなのです。



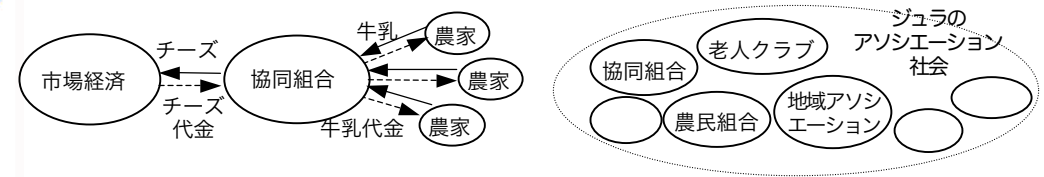
## ■市場経済と農民生活をつなぐジュラの協同組合

### ・家族を重視し生産拡大を目指さない農民たち

世界の他の地域と同様、ジュラの農民たちも市場経済の中に生きています。しかし彼らは資本主義的な生産拡大は目指しません。土地や労働力などの彼らの生産の条件が家族に規定されており、宗教的にも家族が重要なためです。家族生活の維持を優先する彼らにとって、家族を犠牲にするような経済は無意味なのです。

### ・アソシエーションによる社会

家族を重視する農民たちの生産活動は、実は協同組合によって市場経済の圧力から守られているのです。酪農家が協同してチーズを生産することで、高い経済価値を実現して個々人の利益を増大させ、逆説的に農民たちの家族生活の個性性を強化するのです。



## ■理想と現実の狭間～困難に直面するヨーロッパ社会

### ・ジュラの理想と社会的経済

協同による自律性の実現は、少し違う形とはいえフリーエヤブルードンの理想でもありました。そしてその理念は「社会的経済」という社会的公正を実現する地域に根ざした経済を目指す考えに発展し、その考えはヨーロッパ連合にも受け継がれています。

### ・ヨーロッパ社会の困難

それではヨーロッパはユートピアを実現したのでしょうか。確かに一面ではそう言えます。しかし、移民問題や失業問題など新たな問題も山積しています。一つの理想の追求は新たな別の問題を生み出したのです。この歴史の皮肉から我々は何を学べるのでしょうか。

